

小山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	文化財保存論	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	複合工学専攻（建築学コース）		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	安高 尚毅						
到達目標							
1 文化財保護,建築再生の概要が説明できる 2 歴史的市街地、都市景観計画の諸制度と理念について説明できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	文化財保護,建築再生の概要が説明できる		文化財保護,建築再生の概要が理解が不十分		文化財保護,建築再生の概要が説明できない		
評価項目2	歴史的市街地、都市景観計画の諸制度と理念について説明できる		歴史的市街地、都市景観計画の諸制度と理念についての理解が不十分		歴史的市街地、都市景観計画の諸制度と理念について説明できない		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑥							
教育方法等							
概要	文化財保存の意義を習得する						
授業の進め方・方法	スライド資料とプリントにより授業を進める						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の流れの把握		
		2週	歴史的環境の保存の意義		歴史的環境の保存の意義の把握		
		3週	歴史的環境の保存の意義		歴史的環境の保存の意義の把握		
		4週	歴史的環境を巡る制度		歴史的環境を巡る制度の把握		
		5週	民家調査の基礎知識		民家調査の基礎知識の把握		
		6週	民家の見かた調べかた		民家の見かた調べかたの把握		
		7週	文化財建造物評価書の書き方（1）		文化財建造物評価書の書き方の把握		
		8週	文化財建造物評価書の書き方（2）		文化財建造物評価書の書き方の把握		
	2ndQ	9週	伝建地区調査報告書の書き方（1）		伝建地区調査報告書の書き方の把握		
		10週	伝建地区調査報告書の書き方（2）		伝建地区調査報告書の書き方の把握		
		11週	西日本の伝建地区事例（1）		西日本の伝建地区事例の把握		
		12週	東日本の伝建地区事例（2）		東日本の伝建地区事例の把握		
		13週	世界遺産の町並み		世界遺産の町並みの把握		
		14週	レポート発表と講評		文化財建造物の評価をすることができる		
		15週	レポート発表と講評		伝建地区の評価をすることができる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	0	70	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	30	0	0	0	70	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0